

浜学園	5年		
	算数		
学習内容	5月の学習内容 No.11 文章題(1) No.12 比(1) No.13 比(2) No.14 割合(1)		
家庭学習ポイント	No.11では和差算、消去算、差集算、過不足算、つるかめ算の5つのテーマを学びます。和差算では線分図を描くコツを掴むことがとても重要です。同じ大きさと違いを線分図に表せばすぐに解けるのですが、ここで作業をさぼると6年生になって図が描けないという状態になります。差集算の解き方も大切です。条件を整理する方法に真剣に取り組みましょう。つるかめ算は表で解く、面積図どちらも使えるようにしておくことが大切です。No.12の比では「比べる・約比・比の値・比つくり・比からの復元・逆比」の6つのテーマを学びます。この単元も今後の算数の理解にとってとても重要です。テーマと扱う概念に比べて問題が簡単なため適当にこなしてしまうお子さんが多いのですが、非常に重要なテーマを扱っています。No.13では比合わせ、比例式の性質、比例式の応用、比のかけ算、加比の理という、今後の難問の礎となるテーマを扱います。丁寧に理解を深めましょう。No.14では、割合、比べられる量、元にする量、割合条件の処理、割合条件からの復元という、これまた今後の難問を解くために必要な知識と演習が詰まった単元です。何となく正解したらOKではなく、条件整理を丁寧に行う作業を身につけてください。		
課題の把握と解決策	チェック1	線分図を素早く書くことができますか？	チェック
	解決策	問題文で与えられた条件を適切に処理するための技術です。素早く丁寧に作業しましょう	□
	チェック2	つるかめ算の解法の本質を理解していますか？	チェック
	解決策	表解にて条件整理し変化に気づけるのが基本、その後面積図、てんびん法などに取り組みましょう	□
	チェック3	比とは何か答えられますか？	チェック
	解決策	テーマ教材を通じて身につけておきたい概念を飛ばさず学びましょう。重要単元です	□
	チェック4	比例式を正しく理解し正しく作業できていますか？	チェック
	解決策	比例式に限らず、比を使った問題の基礎が詰まった単元です。宿題も丁寧に仕上げましょう	□
	チェック5	比と割合の関係を理解できていますか？	チェック
解決策	使いこなせれば算数の得点力が飛躍的に増します。演習教材も徹底的に解きまくりましょう	□	
浜学園	5年		
	国語		
学習内容	5月の学習内容 No.11 ことわざ・慣用句 No.12 部首・画数・筆順 No.13 物語文を読む(1) No.14 物語文を読む(2)		
家庭学習ポイント	No.11ではことわざ・慣用句の知識を深めて、尚且つ使えるようになるまで演習しましょう。ことわざには教訓が含まれています。背景も含めて理解を深め、できれば例文を作るところまでやっておきたいですね。慣用句は実際に使う場面も想像しながら、一つひとつ覚えていきましょう。丸暗記だと語彙力を増やすことにはならず、むしろ辛いだけの作業になってしまいます。No.12では漢字を組み立てている部分の内、意味を成している部首を学びます。これまで覚え、使ってきた感じを改めて見直してみましょう。画数、筆順も、部首を理解してから改めて見直してみると合理的に感じると思います。漢字の意味と一緒に学びましょう。No.13では、心情を作る要素に着目して、登場人物の心情を何となくではなく理屈で説明できるようになりましょう。また、前提条件となる時代背景、登場人物同士の関係性にも注目して読んでみましょう。それを踏まえ、No.14では心情変化を学びます。		
課題の把握と解決策	チェック1	ふだんの会話から、ことわざを使っていますか？	チェック
	解決策	この1回の学習で全てを身につけることはできません。普段からことわざ、慣用句を使いましょう	□
	チェック2	いつも使っている漢字の部首を言えますか？	チェック
	解決策	部首に意味があることを踏まえて、漢字の成り立ちをもう一度振り返ってみましょう	□
	チェック3	普段の漢字の学習でも、書き順を意識していますか？	チェック
	解決策	漢字が苦手なお子さんは書き順がバラバラであることが多いです。基本のルールを覚えましょう	□
	チェック4	物語文をフィーリングで解いていませんか？	チェック
	解決策	何となく解けてしまうこともありますが、心情の変化にも根拠があります。理屈で解きましょう	□
	チェック5	心情を表す慣用句をたくさん知っていますか？	チェック
解決策	慣用句の理解は文章を読み解く際にもとても重要な役割を果たします	□	

浜学園	5年						
	理科						
学習内容	5月の学習内容 No.11 月の動きと満ち欠け No.12 星と星座 No.13 星の日周運動 No.14 星の年周運動・星座早見						
家庭学習ポイント	<p>No.11では、まず月に関する基本的な数値や知識を確認します。その後大切なテーマが続きます。地球上での時刻や方位の取り方、北極の真上から見下ろす模式図での地球上の時間や方角、月の満ち欠けが起こる様子など、太陽、地球、月の位置関係を示す図と共に理解を深めましょう。ここを乗り越えれば、その後の日食・月食のしくみなどの理解も深まります。No.12では暗記事項が主になりますが、星座を88個覚える必要もなく、頻出の星座と一等星をセットで覚えることがポイントです。星の色と温度の関係、等級のルールなどを覚え、その後の日周運動、年周運動の理解を深めましょう。No.13では地球上で観測する星の1日の動きを学習します。星座と地球の位置関係を捉えましょう。地球上のある地点から、どの方角を見れば星がどんな動きをするのかを考えていきます。入試でもよく出る透明半球に関する理解も深めておきたいところです。No.14では、「星の年周運動＝1年で地球をほぼ1周する見かけの動き＝原因は地球の1年の公転の動き」と理解を広げていきましょう。いずれも太陽、地球、星座の位置関係が重要です。</p>						
課題の把握と解決策	チェック1	月に関する知識は身についていますか？					チェック
	解決策	テストでは知識を求められて即答できる状態であるよう、普段から一問一答を行いましょ					□
	チェック2	北極の真上から地球やつきを見下ろした模式図を自分で描けますか？					チェック
	解決策	太陽、月、地球、星座を作る星の位置関係と距離のイメージを把握しておくことが大切です					□
	チェック3	星座と星について「どのくらい暗記しておけばよいか」把握していますか？					チェック
	解決策	夏と冬の大三角、北極星周りの星座と星、夏のさそり座くらいが最低限と考えましょ					□
	チェック4	勉強の中で「なんでそうなるの？」という疑問が出ていますか？					チェック
	解決策	天体の分野では、入試で問われる星の動きとその理由について、答えられる状態にしておきましょ					□
	チェック5	日周運動と年周運動の違いが分かっていますか？					チェック
解決策	それぞれの見かけの動きには明確な理由があります。地球の時点と公転に注目しましょ					□	
浜学園	5年						
	社会						
学習内容							
家庭学習ポイント							
課題の把握と解決策							チェック
							□
							チェック
							□
							チェック
							□
							チェック
							□
							チェック